



第35回 テクノセミナー

持続可能な食糧生産を支える新技術！

～新技術による食糧生産上の課題解決と新たな食糧生産の取組み～

主催 公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部
後援 神奈川県

SDGs 目標2：飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農林水産業を進めよう。

この目標は、2030年までに、飢餓と栄養不良に終止符を打ち、持続可能な食糧生産を達成することを目指しています。また、環境と調和した持続可能な農林水産業を推進し生産性を高める必要もあります。

今回は農業と水産業に着目し、低減困難だった柑橘類の出荷前ロスの低減対策、魚と植物を同時に育てる循環式農法アクアポニックスの今、植物工場に適した専用品種の高速育種技術について講演を致します。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2 飢餓を
ゼロに



開催日：2024年**3月9日(土)** 13:00～16:30 (受付開始12:30)

会場：(1) 波止場会館 (5階多目的ホール) (定員 50名)
(2) Web受講 (定員100名)

参加費：一般の方等：**無料**

技術士の方：参加費を頂きます (詳しくは裏面をご覧ください)

<講演会> 13:00～16:30



食品ロスの現状と隠れ食品ロスを防ぐ空間噴霧技術

食品ロス統計に含まれない隠れ食品ロス。特に柑橘類の出荷前ロスを低減した弱アルカリ性除菌剤空間噴霧による防カビ・鮮度保持の効果をそのメカニズムと共に解説する。

株式会社ピースガード 技術顧問 野々村和英氏 (技術士 経営工学)



新たな食料生産の扉を開く「アクアポニックス農法」とは

魚と植物を同時に育てる循環型農法アクアポニックス。有用性だけでなく、なかなか導入が拡大しない本質的課題まで、これを聞けば全て分かるアクアポニックスの今を解説する。

株式会社プラントフォーム 代表取締役CEO 山本 祐二氏



野菜の高速育種技術の現状と可能性

植物工場の生産性を飛躍的に向上させる専用品種の重要性和植物工場システムを活用した高速度育種技術のポテンシャルについて解説する。

株式会社リーフ・ラボ 代表取締役 丸尾 達氏 (公財)園芸植物育種研究所理事長・所長

■講演会参加費

一般・学生、官公庁・関連団体、商工会議所、日本技術士会神奈川県支部協賛団体

：無料

技術士：日本技術士会 正会員・準会員：2,000円

未入会技術士：3,000円

■申込方法：いずれかの方法でお申込みください。

①一般の方等・未入会技術士：

- ・ **グーグルフォーム**で申込 **(右のQRコードから申し込めます)**

<https://forms.gle/xY3yXayp78zTtM3a9>

②日本技術士会の会員：

- ・ 日本技術士会HPの新CPD行事申込から

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

一般の方
未入会技術士の方
お申込みはこちら



■参加費支払い方法

・ 日本技術士会の会員：会場参加→会場支払い、Web参加→会費請求時一括支払い

・ 未入会技術士：会場参加→会場支払い、Web参加→事前振込 (別途ご案内)

参加申込書に記載いただいた個人情報はテクノセミナーの運営のみに利用させていただきます。

■申込締切日：2024年3月2日（土）（定員になり次第締め切り）

■問合せ先：日本技術士会神奈川県支部 TEL：045-210-0337

■会場アクセス

・ みなとみらい線 日本大通り駅3番出口より徒歩5分

・ JR根岸線 関内駅より徒歩15分

